



伝える



つなげる



No.
408



ひびきあう



今月の表紙写真は県社協職員が訪れた鈴鹿七座「山道を越えた先に広がる、のどけな眺望」の様子をお届けします。

テーマは
「旅行先の景色や思い出」
三重県内の風景や美味しいもの、
おすすめスポットなどを
ぜひ、おすそ分けください！

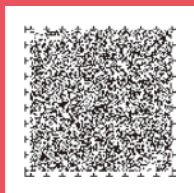
写真の投稿はこちらから >>>

あなたの写真が世界への冒険を共有し、
福祉の魅力を広める一役を担うかもしれません！

contents

- 特集：企業が取り組む「地域貢献活動」…………… 2
- information…………… 4
- 地域共生の基盤をつくるために、多様な主体との協働を進める …… 5
- 10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります …… 6
- ありがとうメッセージ…………… 8

福祉みえでは、2～4ページの特集記事に uni-voice による音声コードを導入しています。

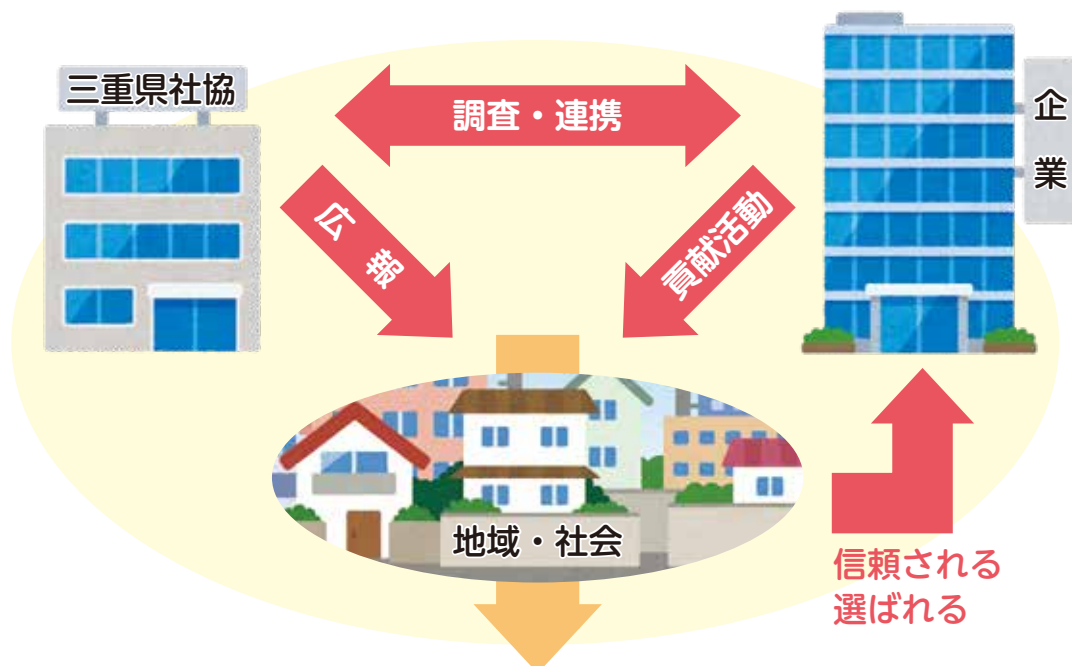


Uni-Voice音声コード

ふれあいネットワーク



社会福祉法人 三重県社会福祉協議会



誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられる福祉社会づくり

三重県社会福祉協議会では、社会福祉に関心を持つ人を増やしていくにあたり、「地域貢献活動」を行っている企業について、広く伝えることも役割のひとつと考えています。

そこで、こうした企業が消費者、若者、投資家等から選ばれるよう、情報発信で支援することを目的として、取材しました2企業についてご紹介します。

株式会社ポーラ
鈴鹿ブランドグループ

地域貢献活動を開始した経緯

近年、デジタル化が進み、ほとんどの事がオンラインで完結できる一方で、人との触れ合いが不可欠と日頃から感じており、その場を造る活動をしたいという思いがありました。

会社の代表者がもともとボランティア好きだったことや従業員から「老人ホームでボランティアをしてみたい」といった意見があり、お客様からの紹介で老人ホームのデイサービスの場に行く機会があり、それをきっかけとし、地域貢献活動を開始しました。

地域貢献活動を通じて、「喜ばれることに喜びを」という理念を従業員内で共有し、実感していただきたいという思いから、地域貢献活動をしていく中で地域の方々「困って

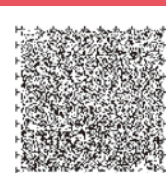
いること」、「必要としていること（ニーズ）」を聞くことを重要視しています。

また、ボランティアグループ「鈴鹿^{かき}活起」の活動にも複数名の従業員で参加し、マルシェへの出展やチャリティイベント（収益を能登半島地震の被災地に寄付）を行い、地域の活性化等にも尽力しています。

主な地域貢献活動内容の様子

● ハンドマッサージの実践

高齢者施設に直接出向き、施設利用者が楽しく会話をしながらハンドマッサージを実践しています。





●赤い羽根共同募金への寄付
サービスメニューである「チャリティーハンドトリートメント」の売り上げの内、10%を共同募金に寄付し、鈴鹿市の地域福祉に貢献しています。



●「おしゃれ教室」を開催
障がいを持った子どもたちを対象に、おしゃれについての講演会等を開催しています。

会社概要

ポーラ最先端の知識、技術を活かし、専任のビューティーディレクターが、お客さま一人ひとりの肌に合わせたエステプランをご提案し、お客さまのキレイを応援しています。

HP

<https://www.pola.net/shop/50027> (鈴鹿平田店)
<https://www.pola.net/shop/55051> (鈴鹿江島店)



和光紙器株式会社 (鈴鹿事業所)

地域貢献活動を開始した経緯

鈴鹿事業所が所在する地域の周辺は、「調整区域」となっており、住居や自治会がありません。そんな中、「地域で商売するなら何かしたい」という想いを持っていたことから、清掃活動を皮切りに、地域貢献活動を開始しました。

また、企業理念として、以下の4つを掲げており、地域社会に貢献したいという気持ちがありました。

- 私たちは健全な事業発展を通じて社会に貢献し、企業の社会的責務を果たします。
- 私たちは地球環境の調和を図り、広く社会に貢献します。
- 私たちの働きで豊かな価値を創出し、より良い社会を作ります。
- 私たちはCSR活動を通じて社会や環境と共存し、ステークホルダーからの信頼を得られるようにします。

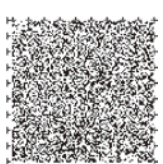
今後の課題や展望として、SDGs目標達成期限に合わせ、少なくとも

令和12年までの活動の継続を目標とし、できることを続けていくことを今後の展望としています。

地域貢献活動内容の紹介

●工場見学

杉の子特別支援学校からの依頼をきっかけに、令和6年に初めて自社の工場見学を実施しました。実施に向けては、事前に、学校側と会社側で何度か打合せを行い、社内では、危険な場所やものがないか、念入りにチェックを行いました。





● 地域の清掃活動



● 工作教室

小学4年生以上の子ども30名の参加があり、段ボールの仕組みや会社の活動について説明をし、工作を行いました。

会社概要

環境に配慮した包装資材や緩衝材などの開発・製造・販売を主に行っています。本社は埼玉県にあり、昭和37年に設立、鈴鹿事業所は、元は営業所として平成12年に開設されました。SDGsへの取り組みを基に、包装資材において環境に配慮した循環型社会を目指しています。

HP

<https://www.wakosiki.co.jp/>



当会では今後も、地域貢献活動に取り組む企業のご紹介を予定しています。

取材希望、または取材先をご紹介いただける方は、広報誌裏面に記載の電話番号までご連絡ください！

information

令和7年度三重の赤い羽根共同募金 バッジデザインが決定しました！

今年度の各賞は下記のとおりになりました。

- **三重の赤い羽根賞**
三重県立飯野高等学校 2年生 小屋口 朱々 さん
- **三重県知事賞**
三重県立飯野高等学校 2年生 田中 隼人 さん
- **三重県教育委員会賞**
中学生・高校生の部
鈴鹿市立大木中学校 3年生 加藤 涼 さん
小学生の部
桑名市立深谷小学校 5年生 堀田 健琉 さん
- **三重県議会議長賞**
三重県立飯野高等学校 3年生 山田 麗佳 さん
- **三重県社会福祉協議会長賞**
三重県立名張高等学校 3年生 奥井 惺太 さん



三重の赤い羽根賞 受賞作品

※令和7年度の共同募金運動にて
使用します

訂正とお詫び

『福祉みえ』8月号に掲載した「コロナ特例貸付の償還開始に伴うフォローアップ支援事業」において、一部数値の単位表記に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤

令和7年3月末	緊急小口資金 (償還期限到来済)	総合支援資金 (償還期間10年)
償還未完了件数	5,151 件	6,489 件
償還未済額	7 億 3,198 万円	31 億 2,010 件

正

令和7年3月末	緊急小口資金 (償還期限到来済)	総合支援資金 (償還期間10年)
償還未完了件数	5,151 件	6,489 件
償還未済額	7 億 3,198 万円	31 億 2,010 万円

※「総合支援資金」の償還未済額の単位が誤って「件」となっておりましたが、正しくは「万円」です。

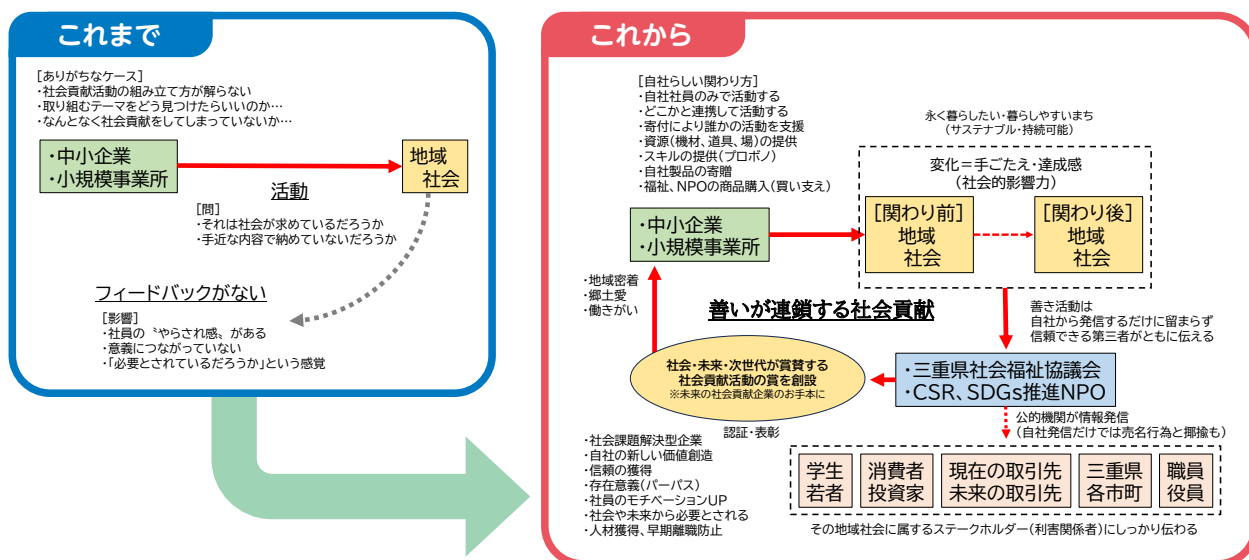


Uni-Voice音声コード

地域共生の基盤をつくるために、多様な主体との協働を進める

当会では、地域の様々な課題に対応していくために、これまで以上に幅広い主体とつながっていく取組を進めています。特にボランティアセンターでは、県内の事業所等を対象に、企業の社会貢献活動の支援として、NPO 法人 M ブリッジとの協働により、より多くの組織が共に学び合い、今後のあり方を検討するために「みえボランティアフォーラム」として様々な企画を実施してきました。

近年では、CSR（企業の社会的責任）、SDGs（持続可能な開発目標）などが注目され、多様な主体が社会課題解決に取り組むことに関心が高まっています。その一方で、「どのように地域の役に立てばよいかが解らない」、「貢献意識を社員に浸透する方法を知りたい」など企業等の社会貢献担当者が孤軍奮闘しているという声も耳にします。



社会貢献へのボランティアな企業等の想いが、その地域の課題解決の活動としてよりよくつながることを目指し、本年度からは、これまでの取組をさらに広げていくために多様な主体が参画する勉強会「ボラコラボ」を開催し、より多くの方々がつながり、セクターを越えて学び合う機会をつくっていきます。企業や地域とのつながりを学ぶことは、福祉関係者がよりよい事業を展開するにあたってのヒントになるかもしれません。興味関心がございましたら、ぜひご参加ください。

多様な主体が参画する勉強会「ボラコラボ」

企業の社会貢献活動やボランティア、社会課題解決をテーマにしたオンライン勉強会を開催し、「ボランティア」を共通項に多様な担い手が福祉の視点も交えて考え、学び、つながることを目指します。

「ボラコラボ」への参加には、「みえボランティアフォーラム」へのご登録が必要です。日時等の詳細はご登録いただいた方に改めてご案内いたします。

（ご登録およびご参加は無料です）

ご登録フォーム





10月1日から 赤い羽根共同募金運動が始まります

赤い羽根共同募金

共同募金運動は、昭和 22 年に「国民たすけあい運動」として始まって以来、県民の皆さまの善意に支えられ、地域福祉活動の推進に貢献してきました。

共同募金へお寄せいただいた寄付金は、県内各地の地域福祉のために役立てられます。

誰もが住み慣れた町で安心して暮らすことのできる地域社会づくりのために、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

社会福祉法人 三重県共同募金会

会 長 前田 朝子



令和7年度目標額

284,400,000 円

一般募金 255,354,183 円 (令和 8 年度事業に充当)、歳末たすけあい募金 28,745,817 円
地域課題解決型募金 300,000 円

一般募金	地域福祉・在宅福祉向上のために (地域のふれあいサロンやボランティア支援等)	200,218,183 円	29 市町社会福祉協議会 193,945,183 円 三重県社会福祉協議会 6,273,000 円
	民間社会福祉施設・団体の活動に	2,166,000 円	団体の事業活動のほか施設 整備、備品購入などを支援 します
	災害時の活動支援のために	8,300,000 円	募金総額の 3%を準備金とし て積み立てます
	共同募金運動に必要な経費に	44,670,000 円	三重県共同募金会、市町共 同募金委員会、中央共同募 金会
歳末たすけあい募金 (地域歳末たすけあい募金・NHK 等歳末たすけあい義援金)		28,745,817 円	一人暮らし高齢者、施設利 用者の方々
地域課題解決型募金		300,000 円	地域の課題解決に取り組んで いる団体

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン
保険金の種類			
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)
	入院保険金日額		6,500円
	手術保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額		4,000円
	地震・噴火・津波による死傷		×
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)
	年間保険料		350円

商品パンフレットは
コチラから(ふくしの保険
ホームページ)

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)



ありがとうメッセージ

～ 心も一緒に届いています ～

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会

令和6年度実施事業

みんなの居場所づくり 松阪地区

松阪市社会福祉協議会では、多目的交流室を活用した交流事業を実施しています。

令和6年度は、ひきこもりがちな方等を対象に、運営・補助を通じた社会参加支援として、誰でも気軽に立ち寄れる居場所「ふらっとカフェ」を開催しました。通常開催やイベント開催時にカレンダーを作成し、関係機関や参加者の皆様に周知しました。地域のボランティアの方にもサポーターとして参加していただいています。また、イベント開催当日には地域の方を講師としてお迎えし、料理やレクリエーションを通して交流を図りました。

皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金を活用し、「ふらっとカフェ」を通して多くの方々にとっての交流の場づくりを行うことができました。ありがとうございました。



社会福祉法人 紀北町社会福祉協議会

令和6年度実施事業

ふれあいサロン事業

紀北町社会福祉協議会では、町内の各地域において、ボランティアにより、ひとり暮らしの高齢者を地元の公民館に招いて、高齢者同士の仲間づくり、生きがいづくり等を推進する「ふれあいサロン事業」を実施しています。

令和6年度は、町の集会所に町内の高齢者の方が集まり、ゲーム・体操・食事等で交流を図っていただきました。「普段は家にこもりがちになっているが、みんなで集まってゲームや体操をするのが楽しい」という声や、「久しぶりにみんなで食べるご飯は美味しい」との声があり、大変喜ばれていました。

共同募金にご協力いただき、ありがとうございました。



発行人 井村 正勝

編集人 横田 浩一・広報委員会

発行所 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131

TEL : 059-227-5145 FAX : 059-227-6618

URL : <https://www.miewel-1.com/> E-mail : info@miewel.or.jp

編集協力 株式会社アイリック

2025年9月号(通巻408号) 令和7年9月発行

「福祉みえ」は三重県社協のホームページでもご覧になれます。また、広報に関するご意見・ご感想は、E-mailにて受け付けております。